



トーヨーカネツグループ

株主通信

第110期 中間事業のご報告
(2017年4月1日～2017年9月30日)

トーヨーカネツ株式会社

証券コード: 6369

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の株主通信（第110期 中間事業のご報告）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における当社グループの業績は、物流システム事業がネット通販向け、食品流通向け及び空港向け設備などを中心に堅調に推移した一方、機械・プラント事業におきましては、大型新設案件が減少したことなどの影響を受け、前年同期と比べ増収・減益となりました。下期におきましても、現在の事業環境に大きな変化はなく、通期においても増収・減益となることが見込まれており、引き続き事業動向を注視してまいります。



また、当社は、昨年11月に、企業価値向上と持続的成長・発展に向けた成長投資や株主への利益還元、資本効率目標の設定など、資本の最適配分の考え方を含む資本政策の基本方針を定めており、引き続き現グループ中期経営計画（2016～2018年度）においてこれを遵守してまいり所存であります。具体的には、本年5月に自己株式の取得（159万株、金額4億99百万円）と消却（600万株、発行済株式総数に対する割合5.8%）をそれぞれ実施いたしました。さらに、本年11月には上限を12万株、金額5億円とした自己株式の取得を実施することを取締役会で決議いたしております。

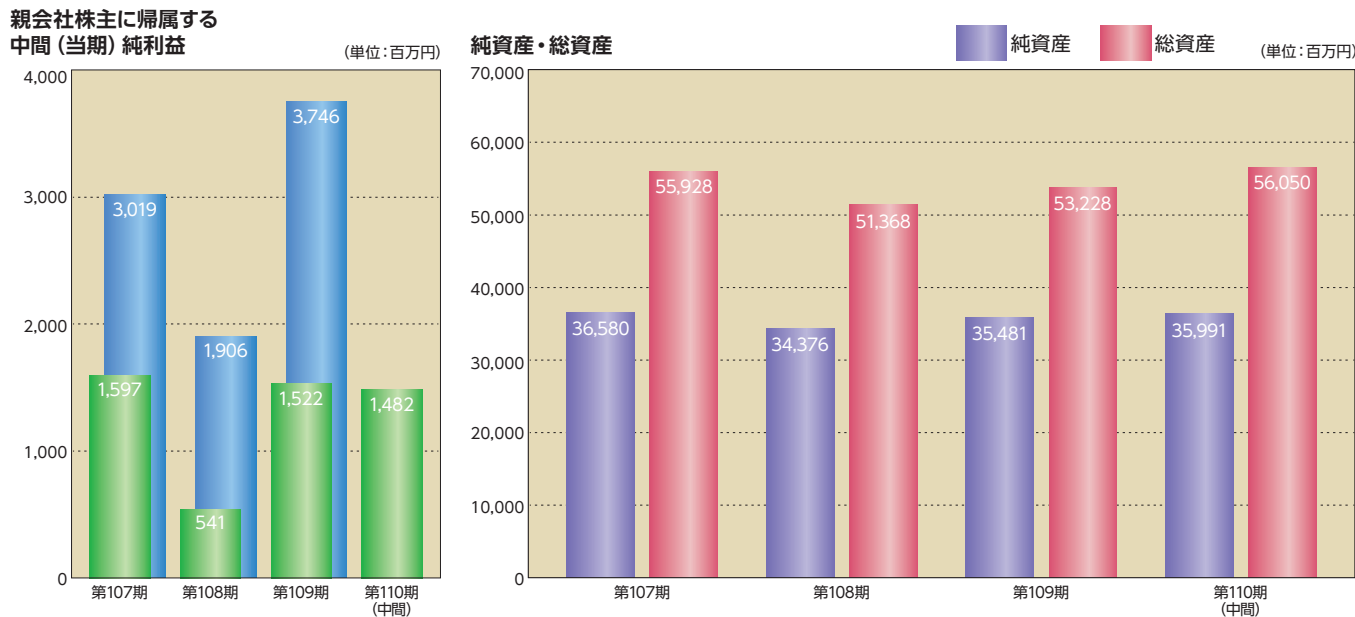
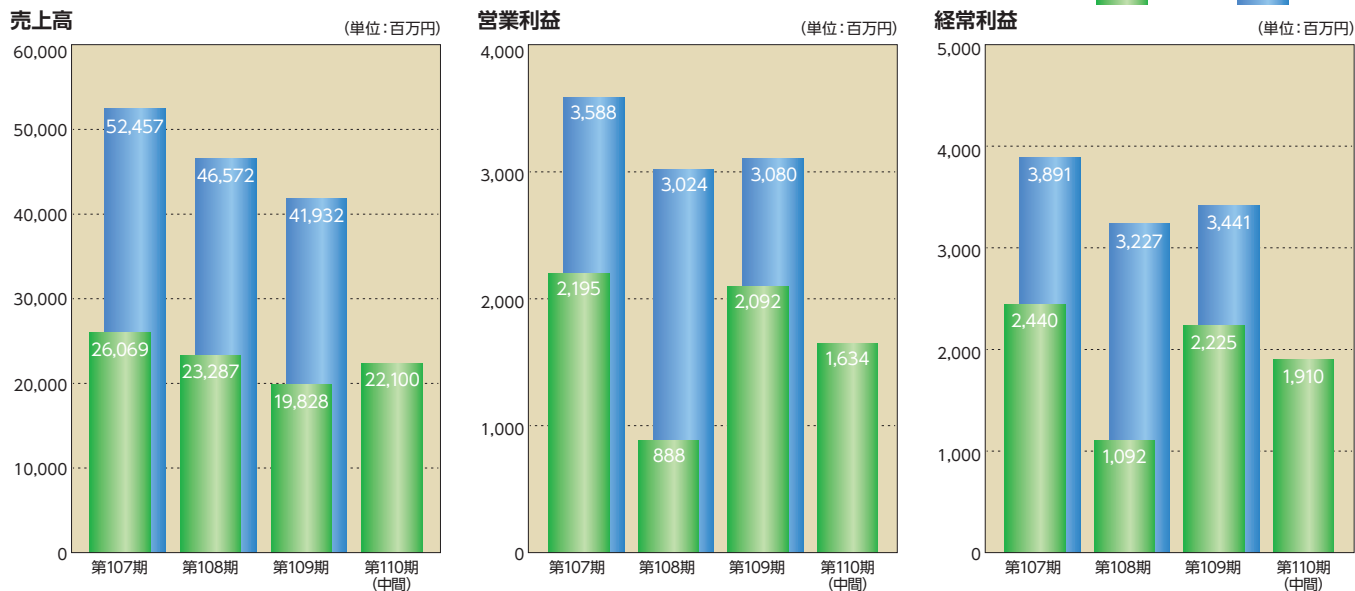
なお、本年10月1日をもって当社普通株式10株を1株にする株式併合を実施したことに伴い、1株あたり年間10円配当を下限とした従来の株主還元方針を変更し、1株あたり年間100円を下限とすることといたしました。また、当期の配当金につきましては、中間配当は行わず期末配当のみとし、その金額は100円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年12月

代表取締役社長 柳川 徹

連結財務ハイライト



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

	第109期 2017年3月31日現在	第110期第2四半期 2017年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	28,479	30,541
固定資産	24,748	25,508
有形固定資産	16,084	15,748
無形固定資産	418	377
投資その他の資産	8,245	9,382
資産合計	53,228	56,050

(単位：百万円)

	第109期 2017年3月31日現在	第110期第2四半期 2017年9月30日現在
(負債の部)		
流動負債	13,104	15,197
固定負債	4,642	4,861
負債合計	17,747	20,058
(純資産の部)		
株主資本	33,978	33,807
その他の包括利益累計額	1,503	2,183
純資産合計	35,481	35,991
負債純資産合計	53,228	56,050

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

	第109期 第2四半期累計 2016年4月1日 ～2016年9月30日	第110期 第2四半期累計 2017年4月1日 ～2017年9月30日
売上高	19,828	22,100
売上原価	15,318	17,837
売上総利益	4,509	4,263
販売費及び一般管理費	2,417	2,628
営業利益	2,092	1,634
営業外収益	307	305
営業外費用	174	29
経常利益	2,225	1,910
特別利益	3	94
特別損失	191	2
税金等調整前四半期純利益	2,037	2,002
法人税、住民税及び事業税	467	363
法人税等調整額	48	155
四半期純利益	1,522	1,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,522	1,482

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

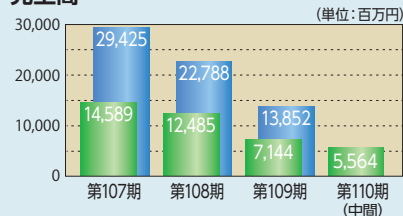
	第109期 第2四半期累計 2016年4月1日 ～2016年9月30日	第110期 第2四半期累計 2017年4月1日 ～2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,413	1,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,513	△516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531	2,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△322	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,781	3,678
現金及び現金同等物の期首残高	13,606	6,810
現金及び現金同等物の中間残高	7,825	10,488

事業別の概要

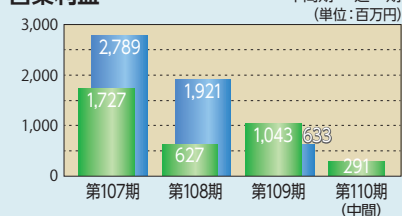
機械・プラント事業

LNG、LPG、原油、その他気体・液体用の貯蔵タンクの設計・製作・施工や、これら各種タンクのメンテナンス業務等

売上高



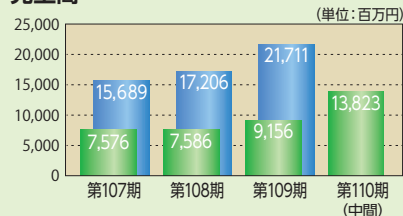
営業利益



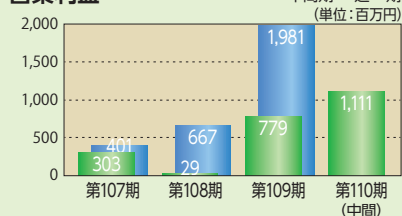
物流システム事業

仕分け、ピッキング及び搬送システムを中心とした物流システムの開発・設計・施工や、これら各種システムのメンテナンス業務等

売上高



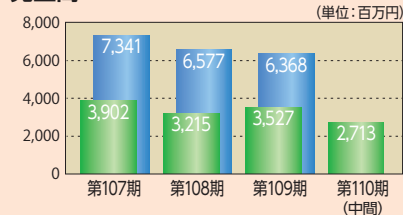
営業利益



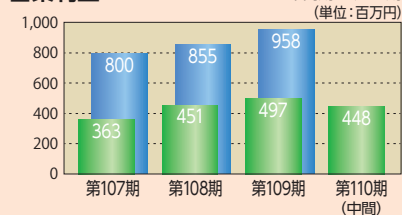
その他事業

福祉施設や賃貸住宅などの建築請負、バラサやウインチなど産業用設備機器の製造・販売、不動産の賃貸・管理等

売上高



営業利益



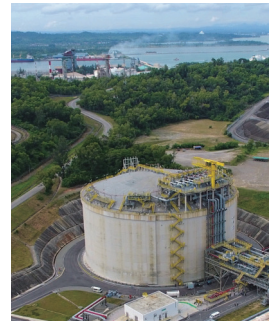
機械・プラント事業

マレーシアLNGタンク建設工事が竣工

マレーシア・サラワク州にある世界最大級のLNG液化プラント向けに、2013年末に着工した165,000m³の容量を誇る大型LNGタンク1基の新設工事が無事に竣工を迎えました。

当社はこれまでに、当プロジェクトも併せて同プラントに建設された全てのLNGタンクを納入し、マレーシア、日本双方のLNGサプライチェーンに貢献してまいりました。

アジア地域の急速な経済発展に伴い、エネルギー需要が増大する一方で、環境対策も急がれる中、クリーンで高効率なエネルギーとしてLNGが注目をされています。当社は世界における数々のLNGタンク建造実績と、長年培った技術力を活かして、アジア地域への積極的な営業展開を図ると共に、同地域の更なる発展に寄与してまいります。



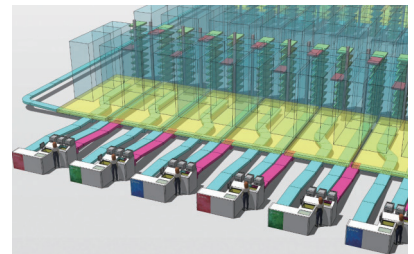
物流システム事業

新ピッキングシステムGP3 (Goods To Person for Pick and Pack) を開発

グループ中期経営計画（2016～2018年度）において、「次期戦略製品の開発」に取り組んでおり、当社は「GTP:歩行レスピッキング」の進化版である「GP3 (Goods To Person for Pick and Pack)」(特許出願中)を開発しました。

「GP3」は、当社従来型ピッキングシステム比約1/4へと工程短縮を実現しました。「GP3」は、当社の主力製品である「マルチシャトル」を使用し、「GTP:歩行レスピッキング」の特徴である歩行レスに加え、出荷箱への直接集品を実現することによって、ピッキングと梱包工程を短縮しました。労働人口の減少や物流センターの大規模化に伴い、作業者の確保が困難になっているお客さまのニーズに応えたシステムです。

次期戦略製品の開発に取り組むことで、お客さまに対して今まで以上に付加価値の高い製品を提供し、更なる高収益体質への転換と競争力の強化を図ってまいります。



新規事業

コーポレート・ベンチャーキャピタルを設立

当社グループの将来の成長を牽引する新規事業立ち上げを目指し、コーポレート・ベンチャーキャピタル「トーヨーカネツ・コーポレートベンチャー投資事業組合」を設立しました。ファンド総額は5億円、2017年10月1日より運用を開始しております。

グループ中期経営計画（2016～2018年度）において、「新規事業の立ち上げ」を中期経営方針の一つと設定し、グループの持続的成長と企業価値向上を目指す中、当社グループの既存事業との距離感に関わらず、革新的な技術・アイデアを有し、B to B領域を主とする有望な国内外のベンチャー企業を対象に支援を行うと共に、こうしたベンチャー企業と協働することでオープンイノベーションを実現してまいります。



会社概要

2017年9月30日現在

商号	トーヨーカネツ株式会社 TOYO KANETSU K.K.
創立	1941年5月16日
所在地	東京都江東区南砂二丁目11番1号
資本金	185億80百万円

役員

2017年9月30日現在

代表取締役社長	柳川 徹
取締役専務執行役員	下前 功
取締役常務執行役員	武田 正之
取締役常務執行役員	兒玉 啓介
取締役常勤監査等委員	阿部 和人
取締役監査等委員	樋渡 利秋
取締役監査等委員	永井 庸夫
取締役監査等委員	中村 重治

グループ会社

2017年9月30日現在

■機械・プラント事業

トーヨーカネツインドネシア社(インドネシア)

トーヨーカネツシンガポール社(シンガポール)

■機械・プラント事業／物流システム事業

トーヨーカネツマレーシア社(マレーシア)

■物流システム事業

トーヨーカネツソリューションズ株式会社

■その他事業

トーヨーコーケン株式会社

トーヨーカネツビルテック株式会社

株式会社トーヨーサービスシステム

株式の状況

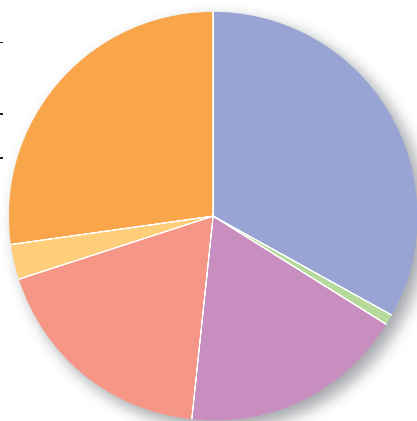
2017年9月30日現在

発行可能株式総数 297,000,000株

発行済株式総数 97,030,741株
(自己株式を含む)

株主数 9,784名

*2017年10月1日付で当社普通株式10株を1株にする株式併合を実施いたしました。これにより、発行可能株式総数は29,700,000株、発行済株式総数は9,703,074株となっております。



所有者別株式分布状況

金融機関	33.2%	32,221千株
金融商品取引業者	0.9%	837千株
その他法人	17.8%	17,323千株
外国法人等	18.2%	17,642千株
自己株式	2.9%	2,793千株
個人・その他	27.0%	26,212千株

● 株主メモ ●

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領
株主確定日

期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人・
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<http://www.toyokanetsu.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

株式に関するマイナンバー制度のお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

*配当金に関する支払調書

*単元未満株式の買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問合せ先】

証券会社の口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問合せください。

証券会社とのお取引がない株主様

三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問合せください。

● ホームページのお知らせ ●



<http://www.toyokanetsu.co.jp/>
当社に関する情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

トヨカネツ株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区南砂二丁目11番1号
TEL.03(5857)3333(代表) FAX.03(5857)3170



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

